

## 競技注意事項

### 1. 規則

- ① 競技は2021年度（一財）日本陸上競技連盟規則、及び本大会要項、申し合わせ事項に準ずる。
- ② 走高跳以外のフィールド種目については、3回の試技をもって終了とする。
- ③ スタートルール第162条(5)の項目について、本競技会ではこれを適用しない。

### 2. 練習

- ① 練習は、公園内及び競技場内走路で危険防止に十分注意して行う。
- ② フィールド競技の練習は、競技開始前に競技役員の指示により競技場内で行う。
- ③ 駐車場・車道等でのウォーミングアップ、投てき練習は禁止する。
- ④ バックストレートでの練習は競技に支障のない限り認める。
- ⑤ 両日とも9：15まで競技場内を練習に開放する。それ以降は公園内、競技場内走路、バックストレート等を使用すること。

### 3. 招集

- ① 招集場所
  - 1次招集・・・正面スタンド下100mスタート付近倉庫内
  - 2次招集・・・各種目のスタート地点 or 競技場所
- ② 1次、2次招集の時刻は競技日程参照のうえ、必ず競技者本人が招集を受けること。
- ③ 招集に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。
- ④ トラック種目の競技者は、1次招集所にて競技者係から腰ナンバーを受け取り、持参した安全ピンで右腰後部につけること。（リレー競技者は第4走者のみ）腰ナンバーは各自で持ち帰り処分する。また、トラック及びフィールド種目出場者は競技会で使用するスパイク又は又はシューズを1次招集所で点検を受ける。なお、フィールド種目専用スパイク又はシューズ（走高跳・走幅跳・砲丸投）は点検の必要はない。
- ⑤ 混成競技について
  - 1) 最初の種目の招集は1次招集所で点呼を受ける。
  - 2) 2種目め以降の招集は、トラックはスタート地点（10分前）、フィールドはピット又はサークル（30分前）に直接集合のこと。ただし、2日目の最初の種目は確認のため、1次招集所において点呼を行う

### 4. 入退場

- ① 競技場への入場については競技者係の指示に従う。
- ② トラック競技は手を消毒のうえ、ゴール側階段から正面スタンドへあがり、各校待機場所に戻る。
- ③ フィールド競技は、競技終了後審判員の指示で最寄りの階段から退場する。

### 5. 競技用靴

- ① 本競技場は全天候型である。（使用できるスパイクのピンの長さは9mm以下、ただし走高跳は12mm以下とする）
- ② ソールの厚さについては、800m未満のトラック種目及びフィールド種目は20mm以内、800m以上のトラック種目は25mm以内とする。

### 6. アスリートビブス

- ① アスリートビブスは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定で、本年各支部に割り当てられたものを使用する。  
（男子は白地に黒色数字、女子は白地に赤色数字）
- ② ナンバーカードは胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。ただし、跳躍種目については1枚を胸につける、また走高跳は胸又は背に1枚つけるだけでよい。

### 7. スタートルールについて

- ・ 不正スタートは、一度の不正スタートでも責任を有する競技者はすべて失格とする。
- ・ スタートの発声はイングリッシュコールとする
- ・ ただし、日本陸上競技連盟競技規則第162条5は適用しない。本競技会のスタート時の不正行為については、規則162条5の(a)(b)(c)の不適切行為は注意にとどめる。ただし競技者が繰り返し行う場合は、イエローカードを提示し、警告を与える。累積2枚のイエローカードを受けた競技者は、その出場競技を失格とするが、それ以降の種目については適用はされない。
- ・ 混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、そのレースで2回目以降不正スタートの責任ある競技者は、失格とする。

8. 800mのスタート方法について  
本競技会において、男女の共通800mにおいてはセパレートレーンスタートを採用する。スタート後自分のレーンを走り、100m過ぎの地点からオープンとレーンとなる。なおその際、ブレイクラインとを区別する黄色の代用縁石をまたいだり、踏み越してはならない。
9. 3000mのスタート方法について  
本大会は、3000mにおいてグループスタートを採用する。その場合のスタート方法は、各組のレーン番号の2/3までがインスタート、残りの1/3がアウトスタートとなる。なお、その際スタート10m以内にはイン・アウトを分離する縁石はおかない。

#### 10. 走高跳のバーの上げ方

走高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。(天候、その他諸事情によって変更する場合もある)

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	
男子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70		以後の高さは審判長の指示による
女子走高跳	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45			
男四種走高跳	1m25	1m30	1m33	1m36	1m39	1m42	1m45	1m48	1m51	四種の高さは以後3cm単位で上げる
女四種走高跳	1m10	1m15	1m18	1m21	1m24	1m27	1m30	1m33	1m36	

第1位に関わる競技者が同成績の場合は、第1位決定のためのバーの上げまたは下げる範囲は2cmとする。

11. フィールド競技の試技時間  
フィールド競技の試技時間は1人60秒以内とする。なお、走高跳については、残りの試技者の数で試技時間が変更となる。
12. リレー競技について(リレーオーダー用紙は招集所に準備)  
①リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を2部作成し、競技開始1時間前までに招集所へ提出すること。  
②リレーのマーカの使用は1カ所とする。(第170条⑩を適用)
13. 計時  
競走競技はすべてのレースにおいて写真判定を採用する。
14. レーン及び走路順  
①トラック競技の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示す。  
②セパレートレーンで行う競技で、全レーンを使用しない場合は、常に第1レーンをあけて第2レーンより使用する。
15. 用器具  
すべて競技場備え付けのものを使用すること。
16. 抗議  
抗議申立書と預託金10,000円を添えて総務に提出。(記録発表後15分以内)
17. その他  
①競技場内にはリストバンド装着者以外は立ち入れない。また、選手のみで付添は入場できない。  
②各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。  
③ゴミについては必ず各自で持ち帰ること。競技場、駅などに絶対に捨てないこと。  
④競技場内の正面スタンド椅子席にテントを張ることは禁止する。  
⑤応援はスタンドで行い、声を出しての応援は慎み拍手のみとする。  
⑥正面スタンド下は通行禁止とする。(スタンドを通過して競技場所へ移動する)  
⑦プログラム記載内容の訂正は各日8:30までとする。記載事項の訂正のみとするものとし、組数や種目の変更や新たな追加等は主催者側の番組編成の誤り以外は受け付けない。  
⑧競技中に発生した事故などの応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。  
⑨記録については各種目上位選手のみ発表する。掲示については蜜となるので行わないので、顧問の先生に確認をするか、後日ホームページでリザルトで確認すること。  
⑩この大会は公認大会であるので、記録は県通信陸上大会・県総合体育大会陸上大会・県新人陸上大会の標準記録に適用される。  
⑪総合公園内の体育館及び野球場は借用していないので、立ち入らないようにすること。